

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072200369		
法人名	社会福祉法人恵仁福祉協会		
事業所名	萩・曲尾グループホーム		
所在地	長野県上田市真田町傍陽6185番地2		
自己評価作成日	令和 3年 7月 21日	評価結果市町村受理日	令和 3年 9月 21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaiogokensaku_mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2072200369-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング株式会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 3年 8月 5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居されている皆様は旧真田町に馴染みがあり、多くは同村へ嫁いで来られた方です。古民家改修型から新築の住まいへと変わり、その当時の御利用者様はもう暮らしてはいませんが住み慣れた地域で穏やかに過ごしていただいています。近所には小学校があり例年は年に数回の交流、年末にはグループホーム主催の餅つきを行っていましたがここ二年間は感染症対策で停滞している状況です。厳しい状況下ではありますが御利用者様の『変わらない日常』を大切に、ホーム内で出来ること・楽しめる事を職員一丸となって試行錯誤しています。御家族様にも面会を制限していただいている状況で、少しでも御利用者様の様子を知らせていただきたく、グループホームのお便りを写真付きで月一回お配りさせていただくようにしました。『楽しみに待っている』とのお声も多く頂き、少しでも楽しさを共有できればと思います。これからも笑い声の絶えない、御家族様との繋がりも絶えない、そんなグループホームを目指していきたいです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

介護保険法が施行される前の1989年10月、当時の真田町の曲尾地区に「曲尾グループホーム」として築100年の懐かしさが感じられる古民家を利用し開設され、平成25年に現在の場所に認知症対応型通所介護「萩の家」と併設し「萩・曲尾グループホーム」として新築移転された。開設から23年目を迎えているが、少人数での暮らしにこだわり、定員は旧ホームからの継続で6名とし、現利用者も地元真田地区に住んでいた方が多く、新型コロナウイルス感染以前は地区のお茶のみサロンに参加し、知り合いである地域の方々との旧交を温めていたが現在中止となっている。同じく、地域の小学校の運動会や音楽鑑賞会に招待を受け参加するなどの小学生との交流も自粛せざるを得ない状況となっているが、その代わりとして小学校の先生が子供たちの作品や活動を写真に収め持参いただき、利用者もそれを見て楽しんだという。新型コロナ禍ではあるがホームでは馴染みの場所や人との関係が住み慣れた場所で継続されるように、現在、地域の中で可能な活動を考え、運営推進会議の地元の委員の方に月例報告書を配布し会議開催の代替とし、電話や書面で意見・助言等をいただきサービスに活かしている。また、新型コロナウイルス感染レベルが低い段階には、家族との面会も事前に予約をいただき、ホーム玄関で一家族3名まで15分間という制約を設け実施し、「萩曲尾グループホームだより」も家族あてに毎月発行し一人ひとりの様子もお知らせしている。新型コロナウイルス収束後にはこのグループホームに関わる全ての人々との活動の再開が待ち望まれる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		